



豊田中学校 学校だより

豊田の里

平成 29 年 11 月 30 日

第 16 号

発行 豊田中学校

磐田市海外派遣事業報告会、広島平和記念式典参加報告会

11月22日(水)臨時朝礼にて、磐田市海外派遣事業報告会、広島平和祈念式典報告会が行われました。磐田市海外派遣事業では、8月16日から20日までベトナム社会主義共和国に3年太田陽与さん、1年塚本ゆきさんが参加しました。また、広島平和祈念式典には、8月5、6日に3年増山千菜美さんが参加しました。

磐田市海外派遣事業報告 3年太田陽与さん、1年塚本ゆきさん

私たちは、今年の夏休みの5日間、ベトナム社会主義共和国に行ってきました。今、アジアの中で最も経済成長が期待されている国です。一体どのようなところなのか、私たちも行くまでは想像が付きませんでした。

初日は、ホーチミン廟とタンロン城の見学を行いました。2日目はハノイにあるヤマハ発動機の工場を見学しました。3日目はツーザー病院平和村の訪問、日本語を学ぶ学生との交流をしました。ツーザー病院の平和村では、体に障害をもった子どもたちと触れあいました。言葉は何も通じませんでしたが、本当に楽しい時間を過ごすことができました。目を見て心で通じ合うということを実感することができました。日本語を学ぶ学生との交流では、一緒にゲームをしたり、折り紙やあやとりをしたりしました。日本とベトナムの文化の違いを感じました。4日目にはクチの地下トンネル、戦争証跡博物館を訪れました。先日の合唱コンクールで、3年3組が歌った『花をさがす少女』という曲はこのベトナム戦争を題材としてかかれたものです。曲にもあったように、豊かに生い茂った木々は枯葉剤という薬がまかれたことによって、一瞬にして無くなりました。この薬による遺伝子の変異によって、体に障害をもって生まれてくる子どもたちがたくさんいます。それが先ほど紹介したツーザー病院平和村の子どもたちです。手足が無い子や言葉をうまく発せられない子、顔の半分がただれてしまっている子など様々な障害をもった子がたくさんいました。私たちがこの事業をとおして痛いほど感じたのは、戦争は当時の人々を傷つけるだけではなく、後生にも影響を及ぼすということ、そして、そのような戦争は2度と繰り返してはならないということです。今、私たちは北朝鮮のミサイル問題を抱え、今にも戦争が始まりかねない状況にいます。ですが、このような過ちを二度と繰り返したくないという思いや、自分たちの子孫のために明るく平和な未来を築いていきたいという思いはみんな同じだと思います。だからまずは私たちから声をあげていくことが、今後の日本を左右すると思います。ぜひ、皆さんも現地へ足を運んで実際に見て、触れて、感じてみてください。以上で海外派遣事業の報告を終わります。ありがとうございました。



1年 塚本ゆきさんの発表



3年 太田陽与さんの発表

原爆の恐ろしさについて、学ぶチャンスです

広島・長崎原爆パル展開催中 (12/1:金まで)2階西側中央渡り廊下にて。ぜひご覧ください

広島平和祈念式典報告会 3年増山千菜美さん

皆さんは広島で起きた 70 年前の悲劇をご存じですか。1945 年 8 月 6 日一発の原子爆弾が広島に投下されました。忘れられない、いや忘れてはいけない負の歴史が広島にはありました。

私たちは初め「安田女子高等学校」を訪ねました。この高校には「被爆桜」という桜がありました。原爆の被害でほとんどの桜は枯れてしまったのにもかかわらず、被爆桜は 70 年を過ぎても生き続けています。そしてびっくりしたのが、この「被爆桜」の接ぎ木が豊田中学校にもあるということです。グリーンベルトの真ん中にあるので見てください。また、慰霊碑に千羽鶴を奉納したこと、爆心地を訪ねたこと、原爆ドームを見学したことなど、原爆や戦争に関わる場所をあちこち訪問しました。

実際に原爆の被害を生で見たガイドさんから話を聞きました。ガイドさんは、目に涙を浮かべながら話してくださいました。「私は幸い親と一緒に疎開していたから助かったものの、疎開しなかった生徒は多くが親と共に亡くなった。肌がはがれている状態で遠くまで逃げてきたものの、そこで力尽きた人もいます。」私はその話を聞いて鳥肌が立ちました。その光景を生で見たガイドさんはどんな気持ちだったのでしょうか。きっと今の私が感じたより何十倍もの恐怖と不安が押し寄せたのだと思います。でも、ガイドさんはその恐怖を乗り越えて私たちに伝えてくれました。だからこそ、私はそのガイドさんの思いをこの先も伝えていかなければならないと思いました。

そして、平成 29 年度広島平和祈念式典に参加しました。そこには広場を埋め尽くすくらいの人々が集まっており、安倍総理大臣や地元代表の小学生の言葉を真剣に聞きました。そして、原爆が投下された 8 時 15 分になると全員で黙とうをしました。

私は今、幸せです。磐田市ののどかさにと「平和だなあ」と思うときがあります。しかし、それは世界を狭い目で見ただけであり、広い目で見れば平和とはかけ離れています。これから先、自分の幸せだけではなく、周りの人も考えられるような人になりたいです。そして、世界から原爆が無くなることを願います。



3年 増山千菜美さんの発表



(生徒の感想)

今日の朝礼で僕は広島のことを印象に残っています。昔に終わらず、今も続いているという言葉がとても心に残りました。今でも必死に生きるために頑張っていると知ると、戦争に対する怒りでいっぱいです。(1年男子)

今日の臨時の朝礼を聞いて、戦争は絶対にしてはいけないとあらためて感じました。私が印象に残っているのは、言葉が通じなくても、目を見れば心が通じるということです。これは確かベトナムのツーザー病院平和村の報告の時に言っていました。私はこのステキな言葉を聞いて、言葉が通じなくてもできることはたくさんあるんだと思いました。(1年女子)

今日は朝礼で、3人の話を聞いて私たちはとても幸せな環境で生活できているんだと分かりました。1日1日を大切にすることの大切さが分かりました。(2年女子)

今日は朝礼でベトナムと広島に行った人たちの発表を聞きました。ベトナム戦争でも広島の前爆でもたくさんの死者が出て今でも苦しんでいる人がいます。そのことはずっと忘れてはいけないと思いました。(2年女子)

今日は朝、平和について話を聞きました。原爆の被害は知っていたけど、ベトナム戦争の被害はあまり知りませんでした。今、平和で過ごせていることをあたりまえと考えるのはいけないと感じました。(3年女子)

